東京ジャーミイ金曜日のホタバ
2008 年 2 月 1 日

子供に対する責任。

親愛なるムスリムの皆様。アッラーは大きな恵みとして、私たちに子供をお恵みくださいました。私たちも子供たちを、人生の彩り、目の光として見なしています。同時に、子ども達に対し、よく教えること、立派に躾けることといった重要な責任もあります。アッラーは私たちにこのことを尋問されるでしょう。アッラーはクルアーンで「あなたがたの財産と子女とは一つの試みであり、またアッラーはあなたがたへの最高の報奨を持つ方であることを知れ。」（戦利品章第２８節）また「あなたがた信仰する者よ、人間と石を燃料とする火獄からあなたがた自身とあなたがたの家族を守れ。」（禁止章第６節）と命じられておられます。

親愛なるムスリムの皆様。子どもが生まれた後の最初の責任は、子どもによい名前を与えることです。名は人間の個性です。この世でもあの世でも、人はその名前によって知られるのです。「確かにあなた方は、審判の日、あなた方の名前、父の名前で呼ばれるだろう。だからよい名前をつけなさい。」というハディースで、預言者ムハンマドはよい名前の大切さを説かれているのです。名を付ける前に、子どもの右耳にアザーン、左耳にイカーマを唱えることはスンナです。

親愛なるムスリムの皆様。子ども達の精神的、肉体的なしつけもまた、私たちの責任の範疇にあるものです。精神的なしつけのためには、子どもが理解できるようになった時から、適切な方法で信仰の基本を教えること、アッラーと預言者を知らせること、そして愛させることが必要です。子供たちのイバーダの義務は思春期になってから始まりますが、子どもが小さい時からイバーダに慣れさせるべきです。そのために励ましたり、見本を示したりする必要があります。子どもたちの学習にかかわりを持ち、クルアーンを教え、そして現世や来世に関する必要な知識を獲得させる為に努力を払うことも、私たちの義務に含まれます。この機会に、このモスクでも週末、子供たちのためのクルアーン教室が継続して行なわれていることをお知らせします。出来る限り、子供たちをこの教室に参加させることは、現代の生活の慌しさの中、今後はその機会を得ることもないかもしれない子供たちの為に重要な機会となるでしょう。そして成長した時には、子供たちはあなた方のためによいドゥアーを行なってくれるでしょう。

親愛なるムスリムの皆様。子どもたちへの大切な責任の一つは、アッラーのご満悦を得ることができる形で子供たちを教育し、育てることです。子供たちはよい教育を、まずは家庭において受けるのです。預言者ムハンマドは、「子どもに、よいしつけ以上に尊い贈り物をできる父はいない。」とおっしゃっています。精神的なしつけと共に、子供たちの肉体的なしつけに関わること、彼らの食事、治療、そして体を健康に保つことのために注意を払うことも必要です。同時に、子どもたちにその人生への備えをさせること、生活基盤の為に職業や技術を身につけさせるのを助けること、時が来ればよい家庭を築くことができるよう支えになることも、重要な任務です。

親愛なる兄弟姉妹の皆様。将来の基盤である私たちの子供たちと、十分にかかわりを持ちましょう。彼らを、崇高なるアッラーの命令に従う形で、民族的、宗教的、道徳的価値に沿った形で、育てていきましょう。これによって、私たち自身と彼らの現世と来世を救うべく努めましょう。フトバを次のハディースで締めくくりたいと思います。「子どもたちによく接し、適切な形で徳を身につけさせなさい。」